

【西区】令和4年第1回区づくり推進横浜市会議員会議

令和4年2月4日(金) 15時開始

西区役所3階3B会議室及び

外部3か所(Web会議)

次 第

1 開 会

2 座長の選出

3 議 題

(1) 令和4年度 西区編成予算(案)

(2) 令和4年度 西区編成予算(案) 主要事業

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進

イ 区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業

ウ 西区「学び・つながり」支援事業

エ 高齢者あんしん生活サポート事業

オ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

カ 健康づくり応援事業

キ 子育て支援の推進

(西区で子育て学び隊事業、西区の保育施設つながり事業、女性と子どものための相談支援強化事業)

ク 地域連携推進・回遊性向上事業

ケ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業

コ 西区民まつり事業

サ ふるさと西区魅力発信事業

シ スポーツ振興事業

ス 西区の緑化と地域のつながり形成推進事業

セ 西区ヨコハマ3R夢推進事業

ソ 地域防災活動推進事業

(3) 西区における開発動向等

(4) 令和3年度 コロナ禍における事業展開の報告

(5) 新型コロナウイルス感染症の状況、ワクチンの追加接種等

(6) 区役所デジタル化におけるモデル区の取組

4 会議報告書の作成

5 閉 会

3-(1) 令和4年度 西区編成予算(案)

【基本的な考え方】

～ つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせにくらせるまち 西区へ ～

新型コロナウイルスの感染拡大による影響は依然として続いており、区民の生活や経済に深刻な影響を及ぼしています。新型コロナウイルスワクチンの接種が進む中、感染状況を十分に把握した上で、「感染症対策の取組」「経済再生の実現」「地域活動の継続」を推進します。また、急速に進行するデジタル社会に対応するため、デジタル技術を活用した新しい形の地域活動、新しい形の行政サービスの実現に向けて、地域の皆様と区役所が連携・協力し、様々な地域課題の解決を図りながら、より良いまちづくりを進めていきます。

- 地域のつながりづくり
- いきいきと健やかに暮らせるまちづくり
- まちの回遊性向上とにぎわいづくり
- 安全・安心なまちづくり
- 親しみやすい区役所づくり

1 区分別総括表

(単位:千円)

	4年度予算額	3年度予算額	差 引
自主企画事業費	98,933	99,090	▲ 157
統合事務事業費	35,718	36,032	▲ 314
統合事務費	20,428	20,408	20
統合事業費	15,290	15,624	▲ 334
区庁舎・区民利用施設管理費	449,482	449,829	▲ 347
合計	584,133	584,951	▲ 818

2 内 訳

(1) 自主企画事業費

(単位:千円)

区 分	4年度予算額	主な事業
地域のつながりづくり	13,359	・「にこやかしあわせくらしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進 ・区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業 ・西区「学び・つながり」支援事業
いきいきと健やかに暮らせるまちづくり	22,420	・高齢者あんしん生活サポート事業 ・障害のある人も住みやすいまちづくり推進事業
まちの回遊性向上とにぎわいづくり	30,259	・地域連携推進・回遊性向上事業 ・商店街及び「まち」のにぎわい創出事業 ・西区の緑化と地域のつながり形成推進事業
安全・安心なまちづくり	24,983	・地域防災活動推進事業 ・西区ヨコハマ3R夢推進事業
親しみやすい区役所づくり	7,912	・サービス改善推進事業 ・区庁舎・区民利用施設環境整備事業
合計	98,933	(31事業)

(2) 統合事務事業費

(単位:千円)

区 分	4年度予算額	概 要
統合事務費	20,428	各課で事務・運営を行っていくために必要な事務費を適正に執行します。
広報よこはま西区版発行事業 ・区民相談事業	9,143	「広報よこはま西区版」の発行を通じて、区民に区の事業及び地域の情報を提供します。また、区民からの要望・提案等広聴の総合的な窓口となり、区民に身近な区の運営に生かします。さらに、区民が生活する上で生じる様々な相談に応じます。
クリーンタウン横浜事業	655	ヨコハマ3R夢プランに基づく、ごみの資源化・減量化啓発事業の実施や地域清掃の支援により、地域におけるごみの減量・3R意識の向上と地域美化の進展を目指します。
消費生活推進事業	55	地域の方々が賢い消費者となって身を守っていけるよう、消費生活に関する啓発記事を地域情報紙等に掲載し、注意喚起を行います。
緊急時情報システム運用事業	879	発災時に地域住民等に対し電話で緊急情報を伝達する手段である緊急時情報システムを運用します。
スポーツ推進委員支援費	1,385	スポーツ推進委員による地域スポーツ活動の推進により、区民の健康増進、体育振興を図ります。
青少年指導員事業	2,269	青少年の健全育成を目的とする青少年指導員協議会の活動の支援を行います。
学校・家庭・地域連携事業	724	中学校区ごとの学校・家庭・地域が連携して行う様々な事業を支援し、非行防止と青少年の健全育成を図ります。
健康づくり月間	180	関係団体による区民に対する情報発信・啓発活動等により、保健・衛生に関する知識の普及、地域に根差した自発的な活動の推進及び区民の健康増進を図ります。
合 計	35,718	

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位:千円)

区 分	4年度予算額	主な施設等
区庁舎	52,562	西区役所
行政サービスコーナー	7,278	横浜駅行政サービスコーナー
区版市民活動支援センター	20,572	にしく市民活動支援センター
土木事務所	8,605	西土木事務所
公会堂	35,685	西公会堂
地区センター等	90,120	西地区センター、藤棚地区センター等
ログハウス	8,386	境之谷公園こどもログハウス
老人福祉センター	53,906	野毛山荘
コミュニティハウス	74,497	戸部コミュニティハウス等
区スポーツセンター	92,191	西スポーツセンター
広場・遊び場	238	西平沼こどもの遊び場等
区庁舎・区民利用施設修繕費	5,442	
合 計	449,482	

〈参考〉公益用地活用メリットシステム（市民局）

(単位:千円)

事業名称	4年度予算額	事業内容
西区庁舎2階フロア環境改善	15,000	西区庁舎2階フロアは、業務拡充に伴う共用部及び執務スペースの狭隘化が著しく、区民サービスの低下を招いているため、レイアウトの適正化等を含め新市庁舎の環境を基本とした抜本的な環境改善を実施
西土木事務所における執務室内換気のための窓の改修	8,000	施設の老朽化により開閉が困難な窓について、感染症対策のための換気を行えるよう窓改修を実施

※公益用地活用メリットシステムとは、各区で地元調整をした後に売却した土地について、売却益の1/2を公共・公益施設等の整備、保全、建替え等の事業に充当できる仕組み

令和4年度 個性ある区づくり推進費(自主企画事業)施策体系別一覧

※新規・拡充について

新規：前年度事業がない新規の事業

拡充：事業費の増減にかかわらず、事業対象範囲を拡大した事業や細目事業に新規事業があるもの

1 地域のつながりづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	R4年度 事業費	R3年度 事業費	事業費 増▲減
1		地域活動事業	2,632	4,089	▲1,457
2	拡充	区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業	3,000	480	2,520
3	新規	西区「学び・つながり」支援事業	2,199	0	2,199
4		西区ふれあい福祉推進事業	3,135	3,103	32
5	拡充	「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」 (西区地域福祉保健計画)の推進	2,393	3,096	▲703
小 計			13,359	10,768	2,591

2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	R4年度 事業費	R3年度 事業費	事業費 増▲減
1	拡充	読書活動推進事業	1,986	1,695	291
2		地域の力を生かしたスクールサポート事業	1,555	1,541	14
3		区役所キッズスペース運営事業	4,910	4,773	137
4		地域子育てサロン運営支援事業	313	368	▲55
5	拡充	西区で子育て学び隊事業	3,428	2,670	758
6	拡充	西区の保育施設つながり事業	697	702	▲5
7		女性と子どものための相談支援強化事業	517	690	▲173
8		健康づくり応援事業	1,720	1,850	▲130
9		高齢者あんしん生活サポート事業	2,938	3,268	▲330
10	拡充	障害のある人も住みやすいまちづくり事業	4,356	4,119	237
-		家計のやりくり応援事業(R4から局事業化)	0	454	▲454
小 計			22,420	22,130	290

3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	R4年度 事業費	R3年度 事業費	事業費 増▲減
1		広報充実事業	3,376	3,558	▲182
2	拡充	地域連携推進・回遊性向上事業	7,127	7,646	▲519
3	拡充	商店街及び「まち」のにぎわい創出事業	2,783	3,114	▲331
4		西区の緑化と地域のつながり形成推進事業	2,403	2,353	50
5		西区民まつり事業	6,007	6,007	0
6		ふるさと西区魅力発信事業	4,818	4,845	▲27
7		地域文化振興事業	500	1,166	▲666
8		スポーツ振興事業	3,245	4,175	▲930
小 計			30,259	32,864	▲2,605

4 安全・安心なまちづくり

(単位:千円)

番号	新規 拡充	事業名	R4年度 事業費	R3年度 事業費	事業費 増▲減
1		西区ヨコハマ3R夢推進事業	2,858	2,858	0
2		交通安全事業	6,518	6,528	▲10
3	拡充	地域防災活動推進事業	12,503	13,003	▲500
4		安心して暮らせるまちづくり推進事業	1,987	2,004	▲17
5		食中毒・感染症予防対策事業	1,117	1,174	▲57
小 計			24,983	25,567	▲584

5 親しみやすい区役所づくり

(単位:千円)

番号	新規 拡充	事業名	R4年度 事業費	R3年度 事業費	事業費 増▲減
1		区庁舎・区民利用施設環境整備事業	6,109	6,003	106
2		サービス改善推進事業	1,193	1,128	65
3		統計便覧作成事業	610	630	▲20
小 計			7,912	7,761	151
合 計			98,933	99,090	▲157

3-(2) 令和4年度 西区編成予算(案)主要事業

地域のつながりづくり

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進 (福祉保健課)
【予算額 2,393千円(対前年度比 703千円減)】

西区では、「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン)を西区の総合的な計画と位置づけ、その推進にあたっては、地域包括ケアシステムの構築と一体的に取り組みながら、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を一層広げることを目指しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大等の影響により1年遅れで令和3年度中に策定する第4期計画について、地域の皆様や関係機関と連携し、新型コロナウイルス感染拡大の状況も見極めながら進めていきます。併せて、地域の皆様等に地域活動や福祉保健により関心を持っていただけるよう広報・啓発にも取り組みます。

(1) 「にこまちプラン」の推進等(2,393千円)

① 「にこまちプラン」(第4期西区地域福祉保健計画)の推進

様々な分野の課題解決に向けて、地域が主体となって取り組んでいけるよう、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザで構成する地区支援チームなどと連携し、協働で支援を行います。

また、福祉保健分野に精通したアドバイザーの助言のほか、各分野の代表者で構成された「推進評価委員会」での意見を聴取して推進していきます。



推進評価委員会

② 「にこまちプラン」(第4期西区地域福祉保健計画)の広報・啓発

地域活動の参考となる題材を取り上げながら、様々な世代を対象とした「にこまち講座」を開催します。

また、学校や放課後キッズクラブ等と連携し、にこまちプランの取組目標と関連付けながら、子どもたち地域とつながりや地域における自分の役割などについて考える「こども向け啓発」の機会を創出します。

さらには、活動の情報やノウハウを共有して活動の充実につなげるため、地区別計画の取組発表などを中心とした「にこまちフォーラム」を開催するほか、地区別計画を紹介する動画を制作します。



「にこまちプラン」の広報・啓発

イ 区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業

(地域振興課)

【予算額 3,000千円(対前年度比 2,520千円増)】

令和4年度は、区民利用施設の個人利用者が、Wi-Fi設備を利用できるよう、個人利用ブースを整備し、区役所と区民利用施設をデジタルでつなぐ足がかりとします。

また、西区内のICT知識のある人材の発掘・育成に取り組み、地域にICTスキルを浸透させ、地域の中で学び合う環境づくりを進めることで、地域活動の更なる活性化及び結束力向上につなげます。

(1) 区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業(2,363千円)

対象施設に個人利用ブースを設けます。

また、端末機器を持参されていない利用者にはタブレットを貸出し、だれでも気軽にICTツールを利用できる環境を整えるとともに、地域へ普及させるための広報啓発を実施します。

■参考：個人利用ブースを設ける区民利用施設

第一地区	戸部コミュニティハウス
第二地区	西前小コミュニティハウス
第三地区	藤棚地区センター
第四地区	老人福祉センター横浜市野毛山荘
第五地区	西地区センター 平沼集会所
第六地区	浅間コミュニティハウス
共通	区民利用施設協会事務局



藤棚地区センター 中会議室
に設置しているWi-Fi機器



西前小学校コミュニティハウス 研修室
に設置しているWi-Fi機器

(2) ICTサポート隊養成(637千円)

西区内のICT知識のある人材を発掘・育成することで、個人のスマートフォンやパソコンに関する相談や講座を開催し、区民利用施設に敷設されたネットワーク環境(Wi-Fi、タブレットなど)を利用したオンラインによる交流の場づくりにつなげます。



第1回「にしくスマホサポーター」養成講座
藤棚地区センター及びオンラインで実施
(R4.1.23)

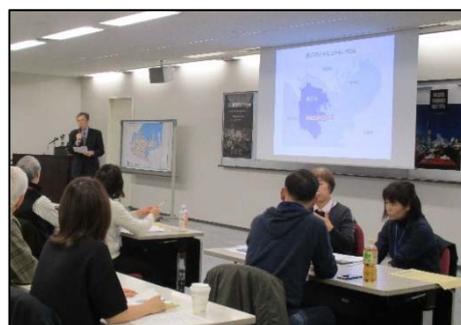
感染症対策が続く中においても、自分にふさわしい形で地域活動を継続できるよう支援するため、あらゆるテーマから区民の「学び」の機会、及び「学び」を実践する機会をつくり、区民の生涯学習の自主的な活動をサポートします。

また、地域で活動している方々と、そのノウハウや技を必要とする方がつながる機会を提供し、地域の「つながり」の輪を広げるための支援を行います。

(1) にしく魅力再発見事業(1,101千円)

西区の歴史や文化をはじめとした、西区のまちの魅力の「見つけ方」について学ぶとともに、受講者自身が再発見した新たなまちの魅力の「伝え方」について学ぶ講座を実施します。

本講座の実施により、受講者の継続的な学びの意欲を醸成するとともに、受講者自らが学習活動を展開します。



講義の様子(サンプル画像)

■参考：講座実施スケジュール(予定)

回数	テーマ
第1回	まちの魅力の「見つけ方」について学ぶ(仮)
第2回	まちの魅力の「伝え方」について学ぶ(仮)
第3回	実践編(活動体験)①
第4回	実践編(活動体験)②
第5回	発表・振り返り

受講人数(予定)：対面式参加15人
リモート参加上限なし

(2) 小学校との連携事業(1,098千円)

感染症対策が続く中、地域人材ボランティアや、地域団体の活動も制約され、小学校と地域の連携が希薄化しています。

そこで、各小学校の総合的な学習の場に地域人材ボランティアなどが活動できる機会を積極的に提供していきます。



西前小学校卒業制作(R3)

いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

エ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 2,938千円(対前年度比 330千円減)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた西区アクションプラン」(令和3年度改訂予定)に基づき、「地域包括ケアシステム推進事業」「認知症等高齢者支援事業」「健康づくり・介護予防事業」の取組を推進します。

(1) 地域包括ケアシステム推進事業(626千円)

① 啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、パネル展を通して、地域包括ケアシステムを広く周知します(11月)

② 地域ケア会議の充実

地域包括ケアシステムの構築に向けた区レベル(10月)・地域包括支援センターレベル会議の充実を図るため、地域課題の抽出から課題解決につなげるためのアドバイザーを派遣します。(区2回、包括4回)

③ 在宅療養ガイドの改訂

西区医師会・西区在宅医療相談室・地域包括支援センターと協働で作成した「西区在宅療養ガイド」について、ACP(人生会議)※を内容に加えるとともに、ケアマネジャー等の介護専門職から配布できるよう、検討会での意見を反映し改訂します。(9月)

※ACP：アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)

自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、家族や医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い共有する取組のこと。



西区在宅療養ガイド

(2) 認知症等高齢者支援事業(1,227千円)

① 認知症講演会の開催

認知症の正しい知識・理解の普及啓発を行うとともに、予防のための食生活や運動、認知症になっても安心して暮らすための取組を紹介する講演会を開催します(10月)。また、講演会を録画し、YouTube等で配信します。

② 認知症サポーター養成講座の実施

認知症に優しいまちづくりを進めるため、引き続き、地域住民、学校や企業等の要請に応じ、認知症サポーター養成講座を実施します。(通年)

③ 普及啓発人材育成研修の実施

認知症キャラバン・メイト(登録者数158名)等に向けて人材育成研修を交流会と合わせて実施し、地域における自主的活動につながるよう支援します。(2月)

(3) 健康づくり・介護予防事業(1,085千円)

① 「ころばんよ体操」を活用した健康づくり

4つの効果(ロコモティブシンドローム・メタボリックシンドローム・認知症予防、オーラルフレイル予防)がある西区のご当地体操「ころばんよ体操～パタカラバージョン～」と、後期高齢者や障害者でも取り組みやすい「ころばんよ体操～Part 2～」を活用し、区民の健康づくりや地域における自主的な活動の活性化に努めます。(通年)



ころばんよ体操
～パタカラバージョン～

② 介護予防活動人材育成研修等の実施 (健康福祉局 区配事業)

地域における介護予防活動のリーダーとなる「げんき活動応援団」(登録者数17名)等の人材育成研修及び介護予防活動グループ交流会を開催し、活動の充実を図ります。(7月、9月)



げんき活動応援団

③ 介護予防リーフレットの改訂

地域における介護予防に関する自主的活動の場や健康づくりの取組等を紹介するリーフレットについて、コロナ禍における各団体の状況を反映し、地域における介護予防等を促進します。(6月)



「お元気活動応援マップ 屋外編」
公園・屋外で活動中のグループ紹介

障害のある人が住み慣れた地域で安心して生活できるように、障害に対する理解を深める啓発活動や、電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策、自立に向けた生活体験を行う場の創出を行い、障害のある人も住みやすいまちづくりを目指します。

(1) 障害のある人に対する理解を深めるための啓発・PR事業(3,652千円)

イベントや広報印刷物等、様々な機会を通じて啓発活動を行っていきます。

① 地域防災拠点訓練での啓発

災害時に配慮が必要な障害者について、地域防災拠点訓練の参加者に障害者が避難してきた際の配慮等についての周知を行います。(通年4か所)

② 区民まつりでの啓発

障害理解を深める啓発活動を作業所や障害関連施設と連携して実施します。(11月)

③ 西区ふれあい作品展

障害者週間に合わせて、障害者施設の利用者等が制作した作品の展示や事業所製品の販売を区役所や地域活動支援センターアニミで行います。(12月)

④ 障害者施設利用案内の配布

区内障害福祉関係施設の紹介冊子(こんぱす)を改訂し、障害当事者及び家族への情報提供として活用します。(8月400部)また、一般の方向けのリーフレットを作成し、普及啓発イベントの機会を通じ広く区民にも配布します。(10月1,000部)



ふれあい作品展

(2) 電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策(221千円)

人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方が災害時に向けた備えを進められるよう支援を行います。

① 災害時個別支援計画(「わたしの災害対策ファイル」)の作成支援

区内訪問看護ステーションと連携し、対象者への配付や計画の作成支援を行います。(通年)



わたしの災害対策ファイル

② 福祉避難所と連携したガス式発電機稼働訓練の実施

発災時に速やかに対応できるよう、福祉避難所と連携し機器点検・稼働訓練を実施します。(通年、6か所)

③ 災害時医療用蓄電池モニター事業

電源を要する医療機器を使用している方に非常用電源機器(蓄電池)を貸与し、蓄電池の使用状況や活用頻度の効果等について情報収集を行います。(6月)

また、非常時を想定した機器使用を試行します。(8月)

(3) 障害者生活体験事業(483千円)

西区版生活支援拠点のモデル事業として、精神障害者等が地域生活を送るための生活訓練・自立に向けたステップとして、マンスリーマンションを活用し、家事援助ヘルパーの利用も可能とする生活体験の機会を提供します。また、本事業体験後の次のステップについて、区内の既存の施設を活用した仕組みを検討します。(9月、1月)



マンスリーマンションの部屋

ひとり暮らし はじめの一步 第3弾!!!

ひとり暮らしって、自分でもできるかな?

一人暮らしやひとり暮らし、自分にはどういった暮らし方がよいのかな?

やってみないと不安だな...

宿泊 一人で一晩過ごしてみたい。

一日体験 泊まるのは不安だけど、家事等を自分でしてみたい。

見学 実際に部屋を見て、イメージを作りたい。

自分自身の方でどれだけ、ひとり暮らしができそうかお試しできるチャンス!!

ひとりひとりのやってみることにあわせて体験できます。もちろん不安なこと、わからないことは一緒に考えます!

対象 西区在住で18歳以上の精神障害者

洗濯 買い物 料理 ごみ出し 入浴 掃除

体験期間 第1弾 2020年9月 第2弾 2020年10月 NEW ヘルパー体験 第3弾 2021年9月2日(木)～29日(水)(日祝除く)

お問い合わせ窓口 生活支援センター西 TEL:045-309-5010 月～土 10時～17時

※急病等は自己負担が発生します

9月2日(木)18日(土)は、合同見学会を開催します! 特別、お申し込みについては、お問い合わせ下さい。

共催 横浜市西区役所 横浜屋が相談システムなくす

体験事業周知用ちらし

カ 健康づくり応援事業

(福祉保健課)

【予算額 1,720千円(対前年度比 130千円減)】

健康づくりの指針である第2期健康横浜21を推進し、区民の大きな健康課題である生活習慣病を予防する取組を進めるとともに、区民が自身の健康に関心を持つ機会を提供します。併せて、関係団体と協力しながら区民の主体的な健康づくり活動を支援します。

また、新型コロナウイルス感染症の予防や感染拡大防止について、最新の情報をパネル展や西区ホームページ等で発信します。

なお、各取組は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見極めながら、関係団体とともに実施方法を検討します。

(1) 健康づくり普及・啓発(795千円)

高齢者を対象とした「歯と口の健康週間」事業において、歯科医師会と共催で歯科医師による歯科相談や、ポスター掲示など健康情報の啓発を行います。

また、中央図書館での健康情報啓発パネル展(8月)や、区役所1階区民ホールでのオーラルフレイル等の健康情報パネル掲示(11月)により、地域住民の身近な場所でも健康情報に触れられるようにします。



歯と口の健康週間(歯科相談)

(2) 食育推進事業(710千円)

食育推進会議の事務局として、区内の小学校、保育園、食生活等改善推進員等の関係団体間の情報共有の促進が図られる場を設け、研修会や区内の食育推進活動事例を紹介するパネル展を実施します。(2月)

(3) 保健活動推進員等の活動支援(215千円)

保健活動推進員が行う健康づくり活動を支援します。

各地区では年間計画を作成し、感染対策を徹底しながら活動を行います。

また、令和5年4月の委嘱式に向けて、町内会からの保健活動推進員の推薦を依頼するとともに、ポスター掲示や会報の配布等により保健活動推進員の活動や役割を広く周知することで、人材の確保に努めます。



健康づくり活動(ハマのウォーキング)

キ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)

(西区で子育て学び隊事業、西区の保育施設つながり事業、女性と子どものための相談支援強化事業)

【予算額 4,642千円(対前年度比 580千円増)】

(1) 西区で子育て学び隊事業(3,428千円)

① プレパパママクラス

妊娠6～9か月の妊婦とそのパートナーを対象に、妊娠・出産・子育てに関する基礎知識を学ぶ「プレパパママクラス」を3回1コースで実施しています。このうち妊娠による身体の変化を学び、妊婦疑似体験などを行う講座について、平日に参加できない妊婦とパートナーが参加できるよう休日に開催します。

実施に当たっては、新たに一部を委託で実施することにより、休日の開催回数を増やします。

(年6回→年12回)



プレパパママクラス

② 赤ちゃん教室

0歳児とその保護者や妊娠5か月以上の妊婦を対象に、子育てに関する情報交換や仲間づくりなどを目的とした「赤ちゃん教室」を区内の9か所で実施します。感染症拡大防止のため、月齢に応じた2部制で開催しています。(年10回×9会場)



赤ちゃん教室

③ 中学校いのちの教室

西区を主な通学区域とする市立中学校(全5校)の3年生を対象に、いのちの始まりや胎児の成長に関する講話、沐浴体験、地域の母子とのふれあい体験などを通じて、育児や親の想いを知り、いのちの大切さを学ぶ「中学校いのちの教室」を実施します。



中学校いのちの教室

④ その他の子育て支援の推進

子育てガイドや保育施設等一覧による子育て情報の提供などを行います。

(2) 西区の保育施設つながり事業(697千円)

南浅間保育園において、新たにオンラインによる育児相談を実施します。また、地域の親子を対象とした子育て支援事業を実施するとともに、子育て関連施設と連携して、育児講座や保育の質向上に向けた研修等を実施します。

(3) 女性と子どものための相談支援強化事業(517千円)

子どもの発達や特性に対する関わり方に困り感のある保護者に適切な助言を行うため、3歳児健康診査時に臨床心理士による個別相談(年16回)を実施するほか、支援に関わる職員に対して専門家からスーパーバイズ(助言・指導)を受ける機会を設けます。

「こども家庭総合支援拠点」機能の整備

本市では、区役所における要保護児童等への支援や、子どもや家庭からの相談への対応を充実させるため、各区に「こども家庭総合支援拠点」機能の整備を進めています。令和3年10月から10区で拠点機能を開始していますが、西区を含む残り8区は令和4年10月から開始します。

■区こども家庭支援課に拠点機能を整備

新たに施設整備を行うものではなく、区こども家庭支援課がこれまでの業務スキルの蓄積を活かしながら「こども家庭総合支援拠点」機能を果たしていきます。

■児童虐待対応等の専任化

現在の虐待対応調整チーム担当係長を核として、国の配置基準を踏まえた専門職を配置し、主に要保護児童等への支援対応に専従する「こどもの権利擁護担当」を設置します。

■相談対応機能の強化

心理職の配置により、心理的側面からこどもの見立てを可能とします。また、現「子ども・家庭支援相談」を発展的に見直し、「こども家庭相談」として専門職が常時相談に対応するほか、支援方針を組織で協議する仕組みを構築します。

■児童虐待以外の要保護児童等への対応

要保護児童等として支援する範囲を児童福祉法の規定に則り、児童虐待のみではなく不適切養育等がある家庭も対象とし、組織的に支援、進行管理します。

■施設退所後の在宅支援の充実

児童相談所の一時保護や施設入所が終了し、地域で生活する児童及び家庭に対し、児童相談所等と連携し、区では「こどもの権利擁護担当」を中心に支援を実施します。

まちの回遊性向上とにぎわいづくり

ク 地域連携推進・回遊性向上事業

(区政推進課)

【予算額 7,127千円(対前年度比 519千円減)】

区民・企業・団体の皆様と連携協働しながら、環境に配慮した行動の定着を目指すとともに、花と緑や史跡をはじめとした、地域資源を活用した区内の回遊性の向上や魅力の発信等、活気あふれるまちづくりを進めていきます。

また、地域で活動する様々な団体等と連携し、地域の主体的な取組を支援しながら、身近な地域課題の解決に取り組みます。

(1) 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業(4,000千円)

区民・企業等と連携した花と緑のまちづくり活動を推進するとともに、まち歩きルート「温故知新のみち」を活用し区内の魅力資源を周知・発信することで、区内の回遊性向上を図ります。

① 地域資源を活用した花と緑のまちづくりの推進

「ガーデンネックレス横浜」事業と連携し、区内に点在する花と緑の地域資源を活用し区内の回遊性を高めます。

また、「にしく緑花サポーター」に登録いただいた団体等への花苗等の配布を通じて、サポーターと協働し、花と緑のまちづくりを推進します(花苗等の配布は春秋の年2回実施)。

■参考：にしく緑花サポーター

【開始年度】令和3年度

【対象】花壇等において緑化に取り組む区内の小中学校や公共施設等

【登録数】28か所(R4.1末時点)

〈内訳〉 保育園、小・中学校：13か所
公共施設等：15か所



「ガーデンネックレス横浜」事業と連携した取組



区内での花と緑づくりの活動(南浅間保育園)

② まち歩きルートの啓発等

まち歩きルート「温故知新のみち」を活用し区内の魅力資源を周知・発信することで、区内の回遊性向上を図ります。

また、区内に設置している案内サインについて維持管理計画を策定するため現況調査を行います。



「歴史街道」案内サイン

(2) 環境行動推進事業(1,836千円)

区民・企業・学校・行政の各主体が相互に連携・協力し、環境に配慮した具体的な行動の定着に向けた取組を実施します。

① 若い世代に向けた環境行動推進の取組

次世代を担う若い世代に向けて、環境に配慮した具体的な取組やSDGs達成に向けた取組を行うきっかけとして、参加型取組「にしくecoチャレンジ」を実施します。

また、環境配慮行動の理解促進を図るため、区内の企業・団体と連携した若い世代向けの環境学習イベント等を実施します。

■参考：にしくecoチャレンジ2021
【実施期間】 令和3年11月1日(月)～令和4年2月28日(月)
【事業概要】 環境やSDGsに関連した3つの取組にチャレンジし、応募いただいた方に、抽選で景品を進呈。
【取組メニュー】
省エネを心がけよう、環境に配慮した買い物をしよう、徒歩やシェアサイクルなどの自転車を利用しよう 等



にしくecoチャレンジ2021パンフレット

② 区内におけるSDGs達成に向けた取組の発信

より多くの区民の方がSDGsへの興味関心を持てるような機会を提供するため、横浜駅やみなとみらい21地区周辺のデジタルサイネージ等を活用し、区内企業・団体等のSDGs達成に向けた取組を幅広く発信します。

■参考：SDGsパネル展
【実施期間】 令和3年11月27日(土)～令和4年2月28日(月)
【会場】 区内5会場にて巡回展示
【参加企業】 団体数：20者



SDGsパネル展

(3) 地域連携交流事業(841千円)

「にこまちプラン」の推進に向けて、地域支援の拡充と地域人材の発掘・育成を図るため、財政支援を行うほか、まちづくりアドバイザーを派遣します。

また、みなとみらいにキャンパスを開設した神奈川大学との連携強化を図ります。

① 西区地域づくり大学校修了生支援補助金

西区地域づくり大学校の修了生の地域活動の円滑なスタートに向け負担軽減を図ることを目的として補助金の交付を行います。

② 西区まちづくりアドバイザー派遣

地域が実施するまちづくり活動の企画・運営に対し、専門的な立場から助言を行い、地域の自主的活動を支援するためにまちづくりアドバイザーを派遣します。

③ 神奈川大学との連携

令和3年4月に神奈川大学みなとみらいキャンパスが開設されたことにともない、相互の連携促進を図るため定例的な会合を通じて、地域の課題解決やSDGsの推進など新たな展開が創り出せるよう、具体的な取組についての協議を進めます。

■参考：令和3年度における神奈川大学との連携実績例
・読書講演会「元ラグビー日本代表が聞く 読書から学んだリーダーシップ」
・SDGsパネル展 ～西区でのSDGsの広がり～
・「実は身近なSDGs」シンポジウム

(4) 区政推進運営事業(450千円)

西区運営方針の策定等、西区関連事業が円滑に進むよう各種調整、情報発信等を行います。

【予算額 2,783千円(対前年度比 331千円減)】

商店街活性化と誘客促進を進めると同時に、周辺の地域資源の魅力を情報発信することで“まちのにぎわい”を創出します。

(1) スタンプラリー事業(2,386千円)

① 商店街を巡るスタンプラリーの開催

昨年度に引き続き、商店街へ実際に足を運ぶきっかけづくりを目的とした「西区商店街スタンプラリー」及び「西区商店街食べ歩き～名店・老舗めぐり～」の開催を予定し、引き続き、より多くの商店会に参加を呼び掛けます。

なお、開催時期については、新型コロナウイルス感染症の状況に留意しつつ、西区商店街組合連合会と連携していきます。



スタンプラリー冊子及びステッカー(R3)

■参考：令和3年度開催内容

- ・西区商店街スタンプラリー
8月1日～8月31日(10商店会：135店舗)
- ・西区商店街食べ歩き～名店・老舗めぐり
9月20日～11月30日(9商店会：22店舗)

【店舗からの主な声】

- ・「このはがきを持参してくるお客さんが増え、結果、来客数が増えた」(405 コーヒーロースターズ)
- ・「商店会単独のイベントがないのでスタンプラリーはありがたい」(そば処松鶴)

【参加者からの主な声】

- ・少量購入でも快く対応してくださるのでうれしいです。
- ・母と食べ歩きができて良い記念になりました。



食べ歩き冊子及びステッカー(R3)

② 「オウチで西区商店会」

新たに飲食店に特化した「西区おいしいおみせ(仮称)」として紹介する冊子作成を予定します。

飲食店の外観、店内、料理、メニュー、場所などをわかりやすく掲載し、広く区民、来街者へ配布することでPRします。

また、西区ホームページ等を活用することで、さらに利用促進に繋げるとともに、飲食店舗へ参加登録を働きかけ、店舗情報の充実を図ります。

(2) 西区情報発信事業(397千円)

「Instagram」

写真に特化した魅力発信ツールの「Instagram」を活用し、イベントや西区内の魅力スポットを随時発信するとともに、SNSでの関連付けである「#“ハッシュタグ”」にて投稿者との連携を呼びかけることでフォロワー数の増加を図り、まちのにぎわいづくりに繋がります。

また、ストーリー機能を活用し、イベントの様子をリアルタイムで発信していきます。

■参考：西区公式Instagram(R4.1末時点)	
【投稿件数】	167件 (R3.8末時点 157件)
【フォロワー数】	1,305人 (R3.8末時点 1,191人)



各地区から見える(第1地区)
横浜ランドマークタワー



各地区から見える(第2地区)
横浜ランドマークタワー



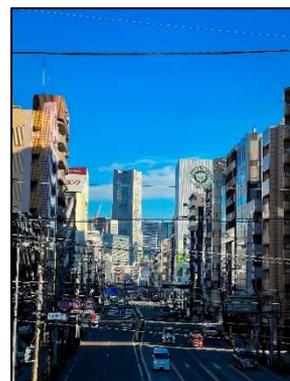
各地区から見える(第3地区)
横浜ランドマークタワー



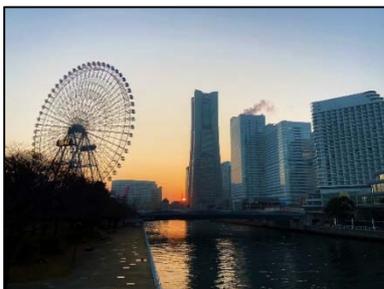
各地区から見える(第4地区)
横浜ランドマークタワー



各地区から見える(第5地区)
横浜ランドマークタワー



各地区から見える(第6地区)
横浜ランドマークタワー



各地区から見える
(みなとみらい21地区)
横浜ランドマークタワー

コ 西区民まつり事業(主催：西区民まつり実行委員会)

(地域振興課)

【予算額 6,007千円(前年度同額)】

西区民まつりは、区民による区民のための交流事業として、地域との連携と共生を図り、顔の見える関係づくりや情報発信を充実させ、地域活動の活性化を図ることを目的に、「西区民まつり実行委員会」の主催により、昭和51年から開催されています。

令和4年度についても、新型コロナウイルスの感染状況に留意しながら西区民まつり実行委員会において検討を進め、開催を目指します。

(1) 西区民まつり事業(6,007千円)

令和元年度は、戸部公園や西前小学校を会場として、次の内容で実施しました。

戸部公園　：くらしの広場(飲食ブース等)、
健康広場(健康チェック等)、
ステージ(ダンスや楽器演奏等)

西前小学校：子どもの広場(ミニSL乗車、射的等)

※令和2、3年度の西区民まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、西区民まつり実行委員会において開催中止となりました。



ステージ(R1)



くらしの広場(R1)

西区の伝統文化、歴史的資産や魅力を総合的に発信することで幅広い区民の参加を図り、区民の一体感、まちのにぎわいづくりを促進することを目的として、「ふるさと西区推進委員会」の主催により、平成22年度から事業を展開しています。

(1) 西区虫の音を聞く会(1,933千円)

掃部山公園で野点(屋外での茶会)や琴・尺八の演奏等を行い、和の伝統文化を楽しむとともに区民の交流を深める催しとして、昭和40年から開催しています。

令和4年度は、令和3年度に補修を行った万灯、雪洞を園内に灯し、幻想的な灯りの中、鈴虫の音をお楽しみいただける内容での実施に向けて検討を進め、開催を目指します。



雪洞

- | |
|--|
| <p>■参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 第55回開催
新元号を祝して彦根鉄砲隊による火縄銃演武を実施 ・令和2年度 開催中止
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため ・令和3年度 開催中止
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため |
|--|

(2) 横浜かもんやま能(1,300千円)

井伊直弼公ゆかりの演者・演目による能と狂言の鑑賞会の開催。横浜開港の地としての西区の歴史に思いを馳せるとともに、日本の伝統芸能に親しむ機会を提供できるよう、実施に向けて検討を進め、開催を目指します。

(3) MM地区とのつながり促進事業(848千円)

西区キャンドルアートは、毎年12月にみなとみらいのグランモール公園で開催される一夜限りのイベントです。キャンドルの優しい灯りで会場を照らし、幻想的な雰囲気をお楽しみいただけますよう、実施に向けて検討を進め、開催を目指します。

また、さくらフェスタ開催への協力を行い、地域交流の促進につなげます。

(4) 彦根市との友好交流事業(274千円)

平成27年に友好交流の覚書を締結した彦根市において開催される物産展に協力します。物産展では、パネル展示やパンフレットの配布を行い、西区の魅力発信につなげます。

(5) ふるさと西区魅力発信情報誌(463千円)

令和3年度、新たに「西区虫の音を聞く会」、「横浜かもんやま能」及び「西区キャンドルアート」等の内容を統合した情報誌を発行しました。令和4年度も引き続き、「ふるさとを感じ、愛着を深める場“西区”」をキャッチコピーに、情報誌を作成し、西区の歴史、魅力を発信していきます。



ふるさと西区魅力発信情報誌

- | |
|---|
| <p>■参考：ふるさと西区魅力発信情報誌</p> <ul style="list-style-type: none"> 【発行】令和3年8月(ふるさと西区推進委員会) 【発行部数】5,000部 【配布場所】西区役所、区内公共施設、区内市営地下鉄駅等 |
|---|

【予算額 3,245千円(対前年度比 930千円減)】

区民が様々なスポーツを体験する機会を創出し、各競技への理解・関心を高めます。

また、ウォーキングイベントの開催により、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の健康づくりを推進します。

(1) スポーツ体験会(770千円)

① 親子サッカー体験会

カタールで開催予定のFIFAワールドカップ(令和4年11月21日から12月18日)に向けて、親子サッカー体験会を実施し、区民が親子で競技に親しむ機会を創出するとともに、サッカーへの関心を高めます。



こどもサッカースクール(R1)

② 小学校におけるスポーツ体験会

小学校において、児童がパラスポーツを含むさまざまなスポーツを体験し、各種競技への理解を深める機会を創出します。

西区スポーツ推進委員
ポッチャ講習会(H30)

(2) 西区ハマのウォーキングフェスティバル(1,700千円)

区民の健康づくりと西区の魅力再発見を目的として、「西区スポーツ振興事業推進委員会」の主催により、広く区民を対象としたウォーキングフェスティバルの実施に向けて検討を進め、開催を目指します。

■参考：第15回西区ハマのウォーキングフェスティバル
実施概要

【開催日】令和3年12月5日(日)

【参加者数】695人

【コース】東海道からみらいへコース(長距離/7.5km)
奉行所からみらいへコース(短距離/4.0km)



ゴール会場(臨港パーク)(R3)

(3) 区民スポーツ振興事業、区青少年活動推進事業(775千円)

西区スポーツ協会、青少年育成団体等へ補助金を交付し、活動を支援します。

西区では市街化の進展によって緑が少なくなっていますが、その中で残された大規模な公園や緑地とともに、身近にある公園は区民が緑を感じることでできる貴重な場となっています。区内の花壇がある公園に対し花苗の提供や協働での植え付け作業を行うことにより、季節感のある緑や花による憩いの空間づくりを進めます。

また、西区内の公園のうち、9公園に藤棚が整備されていますが、開花の時期になっても藤棚全体に花が広がらず、乏しい状態となっています。そこで、藤棚全体に花を咲かせるため、藤の育成・維持管理の手法を構築するため専門家に講師を委託し、引き続き藤棚の再生に取り組みます。

なお、新型コロナウイルス感染防止対策に配慮しながら、取組を進めます。

(1) 公園・施設等の緑化推進(1,663千円)

① 花苗・球根の購入・提供と花苗植えの協働実施

花苗や球根を購入し、公園愛護会を中心に花苗植え作業を行います。作業を行う際には、地域住民や保育園児、小学生などにも参加を呼びかけ、様々な方が一緒に作業していただくことで地域交流を進める取り組みとします。新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、密にならず、短時間で終わるように工夫して実施してまいります。(年2回、31公園)



公園での花苗植え作業

(2) 藤の花再生プロジェクトの推進(740千円)

① 公園の藤棚による維持管理の試行

区内の藤棚がある公園にて、藤棚再生に向け藤棚に関する維持管理の有識者を講師として選定し、昨年度に引き続き剪定作業時にアドバイスを頂きながら維持管理を試行し、維持管理方法の確立を目指します。(通年)



管理者向け講習会の様子

② 地域への維持管理手法の共有

公園にある藤棚だけではなく、地名の由来となっている藤棚商店街の藤棚をはじめ区内にある他の藤棚でも再生につながるように、他の施設などと情報を共有していきます。新型コロナウイルス感染症の影響下ではありますが、できる限り他の藤棚管理者の皆様と連携をとりたいと考え、年2回の公園での講習会を実施する予定です。



個人向け講習会の様子

また、個人のお宅でも藤の花を楽しんでいただくことを目的とした講習会も実施し、藤の花を通じた地域のにぎわい活性化を目指します。(通年)

③ 藤の花再生プロジェクトの情報発信

令和2年6月19日からツイッターでの情報発信を開始、引き続き管理作業のポイントや藤棚の紹介などをツイートしていくとともに、西土木事務所のホームページでも同時に情報発信を行います。(通年)



ツイッターでの情報発信

安全・安心なまちづくり

セ 西区ヨコハマ3R夢推進事業

(地域振興課)

【予算額 2,858千円(前年度同額)】

清潔できれいな街づくりを推進するとともに環境負荷の低減を図り、豊かな環境を次世代に引き継ぐために、区民・企業の3R行動の推進や地域清掃活動の支援を行います。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、人との接触を抑えたオンラインを活用した環境学習の実施や区民・企業等と連携した地域清掃活動を展開し、事業効果の最大化を図ります。

(1) ヨコハマ3R夢推進事業(909千円)

① ごみの減量・リサイクルの推進

世界的な課題となっているプラスチック問題を幅広い区民の方に関心を持ってもらうため、環境負荷を抑えた素材を原料とした啓発物品を使用します。

また、企業と協働して実施している店頭啓発では、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、パネルやデジタルサイネージを活用した視認啓発、SNS(Instagram)での情報発信など、区民の方が興味をひくような内容で、ごみの減量・リサイクルの推進に向けた啓発を実施していきます。



ジュートを素材としたバック



サミット横浜岡野店 店頭啓発

② 啓発や環境学習の推進

小学生を対象に(公財)横浜市資源循環公社と連携したリサイクルびんと廃油を使用したエコキャンドル作りを行い、リサイクルに対する関心を深めていきます。

また、各学校の要望に合わせて新型コロナウイルス感染症対策として、職員と児童との接触を極力避けられるオンライン講座を引き続き実施します。

令和3年度に緑選別センター、資源循環局西事務所、環境事業推進委員と中継を結び実施したオンライン講座を今後も学習内容のニーズに合わせて実施していきます。



エコキャンドル作り



オンライン講座

(2) 清潔で美しい街づくり事業

自治会・町内会等による地域清掃活動を支援するため、必要とする清掃用具を配布します。(希望調書：4月、清掃用具7月頃配布予定)

このコロナ禍において、引き続き大規模なクリーンキャンペーンが行えない状況の中、感染状況に応じて区局が連携した行政による清掃活動及び、企業等による清掃活動※を支援します。(※WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER)

昨年に引き続き、区内の高校・企業と連携し、横浜駅西口周辺地区の清掃・組成調査を行う地域貢献活動を今後も地域において幅広い年代の方に関心を持っていただける活動として展開します。

また、ポイ捨て対策として実施している横断幕や新田間川遊歩道のポイ捨て抑制路面シールの視認啓発を継続することに加え、帷子川沿いにポイ捨て禁止看板を設置し、清潔で美しい街づくりを推進していきます。



行政(関係区局)による清掃活動



ポイ捨て抑制路面シール

西区の「安全・安心なまちづくり」の実現に向け、地域における防災機能の強化を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の対策や、減災対策など自助・共助の取組を進め、地域防災力の向上を推進します。

(1) 地域防災拠点の機能強化(1,650千円)

① 新型コロナウイルス感染症対策の強化と多様な避難者への対応支援

新型コロナウイルス感染症対策を講じた地域防災拠点(以下、「拠点」)運営ができるよう、感染症対策を引き続き実施していくとともに、長期の避難生活を見据えて衛生対策物品を新たに配備します。

また、乳幼児、高齢者、障害者といった要配慮者など多様な避難者に拠点对応できるよう支援を行います。



岡野中学校地域防災拠点訓練(R3)

② 地域防災拠点訓練の実施

発災時に拠点が円滑に開設・運営されるよう、引き続き訓練を実施します。

(防災週間(8月30日)～3月11日、年1～2回)

訓練の実施にあたっては、「新型コロナウイルス感染症を踏まえた地域防災拠点の開設・運営のポイント」や「感染症対策のために推奨する訓練例」を各拠点と共有し、新型コロナウイルス感染症を踏まえた訓練の実施を支援します。

(2) 区本部の防災機能強化(6,367千円)

① 震災・風水害対策の強化及びデジタル機器の活用

災害時を想定した区本部のシミュレーション訓練(360度カメラの活用)を実施し、発災時における区本部の災害対応力を強化するとともに、デジタル機器を活用し効果的な研修(ARアプリの活用)を実施します。

- ・風災害対策訓練(6月実施予定)
- ・震災対策訓練(11月実施予定)



区職員風水害訓練の様子(R3)

② 帰宅困難者対策の強化

横浜駅情報連絡本部であるJR横浜タワーを中心とした情報受伝達訓練と、帰宅困難者一時滞在施設における開設訓練を実施します。

③ 災害医療対策の推進

区内医療機関・医療局との通信訓練(隔月)や医療救護隊訓練(3月予定)、区本部訓練等を通じて、発災時の対応力を強化します。

また、災害医療連絡会(2～3月予定)を通じて区内の関係機関・団体と連携し、災害時の医療救護体制の課題や対応策について検討します。

(3) 自助・共助の推進(4,486千円)

① 地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会の実施

令和3年7月に発生した西区内における崖崩れを踏まえ、横浜市と協定を締結している、住宅・宅地の安全と防災に関する専門家である地盤品質判定士会による無料相談会を実施し、民有地の崖・擁壁の適切な維持管理の啓発を図ります。(7月、11月)



相談会イメージ

(一般社団法人 地盤品質判定士会 神奈川支部提供)

② 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレーカー簡易タイプの購入に係る補助事業を引き続き推進します。感震ブレーカーの認知度向上及び火災延焼対策としての有効性の理解促進を図るため、単位町内会への個別説明や防災指導等の機会に西消防署と連携しての啓発活動を行います。

また、老朽化した初期消火器具等の更新に係る補助事業を引き続き実施し、延焼火災対策を推進します。

<p>■参考</p> <p>【感震ブレーカー補助実績】</p> <ul style="list-style-type: none">・令和元年度：7団体・206個・令和2年度：13団体・447個・令和3年度：6団体・129個(R4.1末) <p>【初期消火器具更新実績】</p> <ul style="list-style-type: none">・令和元年度：4団体・7基・令和2年度：7団体・17基・令和3年度：3団体・4基(R4.1末)

③ 区民への防災・減災の普及啓発

防災・減災に関する啓発のために、区民を対象とした防災講演会を開催するとともに、次世代の防災の担い手となる小・中学生に向けたセミナーを実施します。防災講演会の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた実施方法を検討します。

その他、広報よこはま西区版で防災特集を組み、啓発を実施します。

④ 普及啓発の多言語化への対応

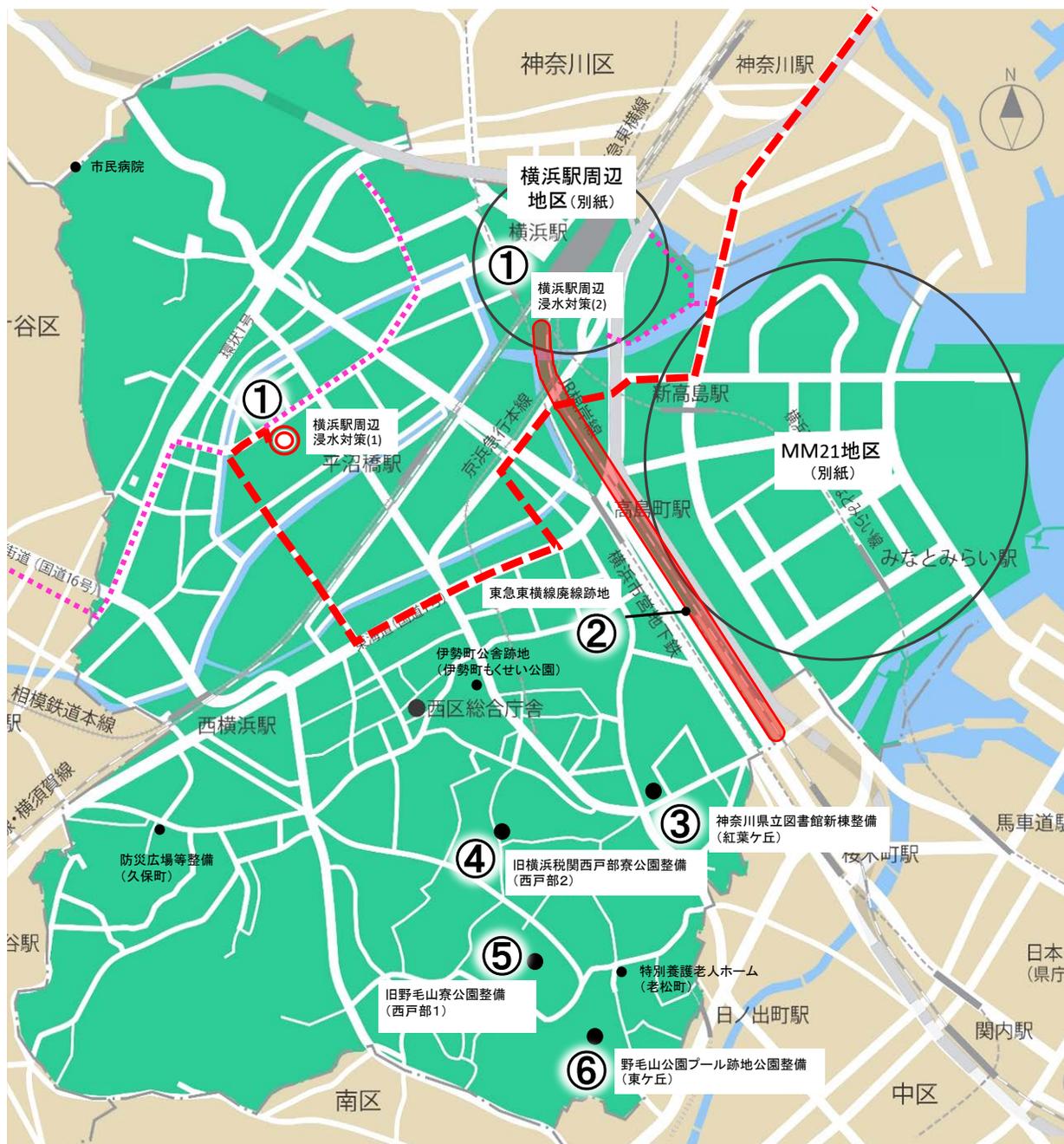
無料多言語対応アプリ「Catalog Pocket(カタログポケット)」等を活用し、外国籍の住民でも防災情報を容易に入手できるよう多言語化を図り普及啓発します。

3-(3) 西区における開発動向等

地区	概要
①	<p>横浜駅周辺浸水対策</p> <p>(1) 神奈川処理区エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線及び東高島ポンプ場整備事業 横浜駅周辺では10年確率降雨(60mm/1時間)に対する整備を行ってきましたが、さらなる治水安全度の向上に向け、30年確率降雨(74mm/1時間)に対応するため、新たに雨水幹線及びポンプ場の整備を予定しています。 地元の皆様や野球場利用団体と調整を行い、雨水幹線の立坑を岡野公園の野球場の一部に設置することとしています。令和3(2021)年5月末に工事に着手しました。</p> <p>【スケジュール】 令和3(2021)年5月末 工事着手 令和12(2030)年度 供用開始予定</p> <p>(2) 横浜駅周辺における下水道管内水位の情報提供 横浜駅周辺において、地下街管理者をはじめ来街される市民の皆様等に、主要な地点における下水道管内の水位情報を提供する取組を開始しました。</p> <p>【スケジュール】 令和3(2021)年度 水位情報の提供開始(6月28日)、水位計の増設検討</p>
②	<p>東急東横線廃線跡地</p> <p>桜木町駅西口広場付近から紅葉坂交差点までの区間を令和元年7月16日に歩行者専用道路として供用開始しました。供用区間の利活用に関する実験イベントを令和元年度に2回(9月24日、12月20日)、令和2年度には1回(10月18日)開催しました。引き続き紅葉坂交差点付近から横浜駅方面の整備に向けた検討を行っていきます。</p> <p>平成29年に道路構造物の耐震基準の改定が行われたことから、構造物の劣化が進んでいる浅山橋交差点～高島町交差点間の構造物の状況調査を令和2年度に実施し、<u>今年度はその他の区間の状況調査を実施しました。</u></p> <p><u>令和2年度の調査結果から、大規模な耐震補強・補修工事が必要であることが判明し、周辺の環境条件を考慮すると、補強工事等の施工が困難であることから、当該区間の構造物を撤去することとし、今年度は安全性を最優先に、公道上部の高島第2架道橋の撤去工事を行っています。</u></p>
③	<p>神奈川県立図書館新棟整備</p> <p>神奈川県が旧県立紅葉ヶ丘高等職業技術校跡地に、県立図書館新棟の整備を行います。</p> <p>新棟を新たに整備し、「価値を創造する図書館」としての機能を付加するとともに、今後、既存本館は建物等の魅力を活かした「魅せる図書館」、既存新館は収蔵庫として改修する予定です。</p> <p>【施設概要】敷地面積1,908㎡、延床面積3,737㎡、地上4階</p> <p>【スケジュール】 令和2(2020)年 着工 令和3(2021)年度 竣工予定 令和4(2022)年度 開館予定</p>

地区	概要
④	<p>旧横浜税関西戸部寮公園整備 環境創造局が国家公務員宿舎跡地を取得し、街区公園として整備を行います。</p> <p>【施設概要】公園面積 約1,500㎡ 【スケジュール】 令和2(2020)年度 既存建物解体、公園計画の検討 令和3(2021)年度 公園設計、<u>擁壁設計</u> 令和4(2022)年度以降 <u>擁壁工事、公園施設整備工事</u></p>
⑤	<p>旧野毛山寮公園整備 当該地は、一本松まちづくり協議会のエリア及び地震火災対策方針における重点対策地域に含まれ、平成21年度に地域から市長あてに公園整備の要望書が提出されています。都市整備局が国家公務員宿舎跡地を取得し、防災に資する街区公園の整備、取付道路の整備等を行います。</p> <p>【施設概要】公園面積 約1,700㎡ 【スケジュール】 令和2(2020)年度 公道整備工事(公道化(北側))、公園設計(基盤整備1) 令和3(2021)年度 公園工事(基盤整備1)、 公園設計(基盤整備2、公園施設) 令和4(2022)年度 公園工事(基盤整備2、公園施設)、 <u>公園設計(擁壁補強工事)</u> 令和5(2023)年度 <u>公園工事(擁壁補強工事)</u>、移管手続等 令和6(2024)年度以降 <u>公道整備設計・工事(公道化(南側))</u>(予定)</p>
⑥	<p>野毛山公園プール跡地公園整備 プールは老朽化のため平成21年に解体され、跡地利用の検討・調整を行ってきましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として整備を行うことが決定しました。</p> <p>【施設概要】土地面積 約6,200㎡ 【スケジュール】 令和2(2020)年度 所管替え、公園計画の検討 令和3(2021)年度 公園計画について継続して検討 令和4(2022)年度以降 公園設計、公園整備工事(予定)</p>

3-(3) 西区における開発動向等(西区開発動向分布図)

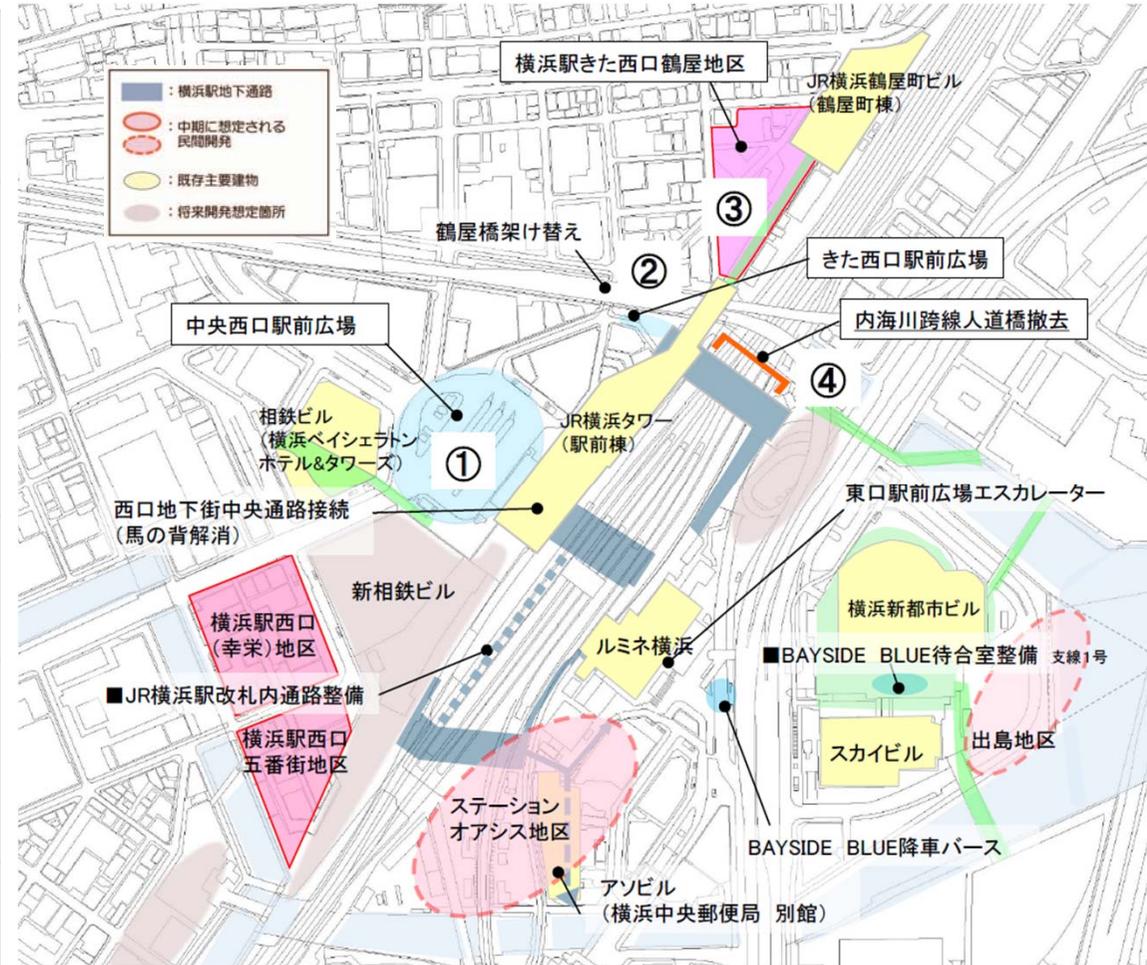


【竣工済】

- 久保町防災広場等整備 令和3(2021)年6月竣工

3-(3) 西区における開発動向等（横浜駅周辺地区）

横浜駅西口	<p>令和2年6月に東日本旅客鉄道(株)によるJR横浜タワー及びJR横浜鶴屋町ビル整備が竣工し、JR横浜タワー前の屋根は令和3年6月に供用開始しました。引き続き駅前広場の整備を進めます。</p> <p>また、神奈川県になりますが、③横浜駅きた西口鶴屋地区では国家戦略特区を活用し、グローバル企業誘致に資する居住機能を有した再開発事業(住宅、ホテル、商業施設等)を進め、令和元(2019)年10月に建築工事に着手しました。</p>
横浜駅東口	<p>横浜中央郵便局及びその周辺地区における民間開発の事業化に向けて、ステーションオアシス協議会(日本郵政(株)、東日本旅客鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、横浜市)により、地下駐車場など地下の工事方法について詳細な調査を実施したところ、地盤改良や近接する鉄道への対策工事等による事業費への影響が大きいことが判明し、地下の掘削部分を縮小するなどの検討を行っています。さらに、関連する基盤施設整備として、駅前広場やデッキ等の検討を行っています。</p>
①	<p>中央西口駅前広場</p> <p>令和元(2019)年7月～令和5(2023)年3月 令和3(2021)年6月 JR横浜タワー前の屋根が供用開始 令和4(2022)年1月～ 横浜高島屋前の屋根工事着手 引き続き駅前広場の舗装整備等を行っていく予定</p>
②	<p>きた西口駅前広場</p> <p>令和元(2019)年7月～令和5(2023)年3月 令和3(2021)年4月 エレベーター供用開始 令和3(2021)年10月～ 屋根整備の工事着手 引き続き高欄や植栽などの広場整備を行っていく予定</p>
③	<p>横浜駅きた西口鶴屋地区(再開発ビル) 事業者：横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合</p> <p>階数・高さ：地上43階/地下2階、約178m 用途：住宅、ホテル、商業施設等</p> <p>平成29(2017)年度 再開発組合設立 令和元(2019)年度 建築工事着手 令和5(2023)年度 竣工(予定)</p>
④	<p>内海川(うつみがわ)跨線人道橋撤去</p> <p>平成30(2018)年～令和6(2024)年予定 令和4(2022)年度 鉄道架線支持替や主要な構造部の撤去工事着手</p>



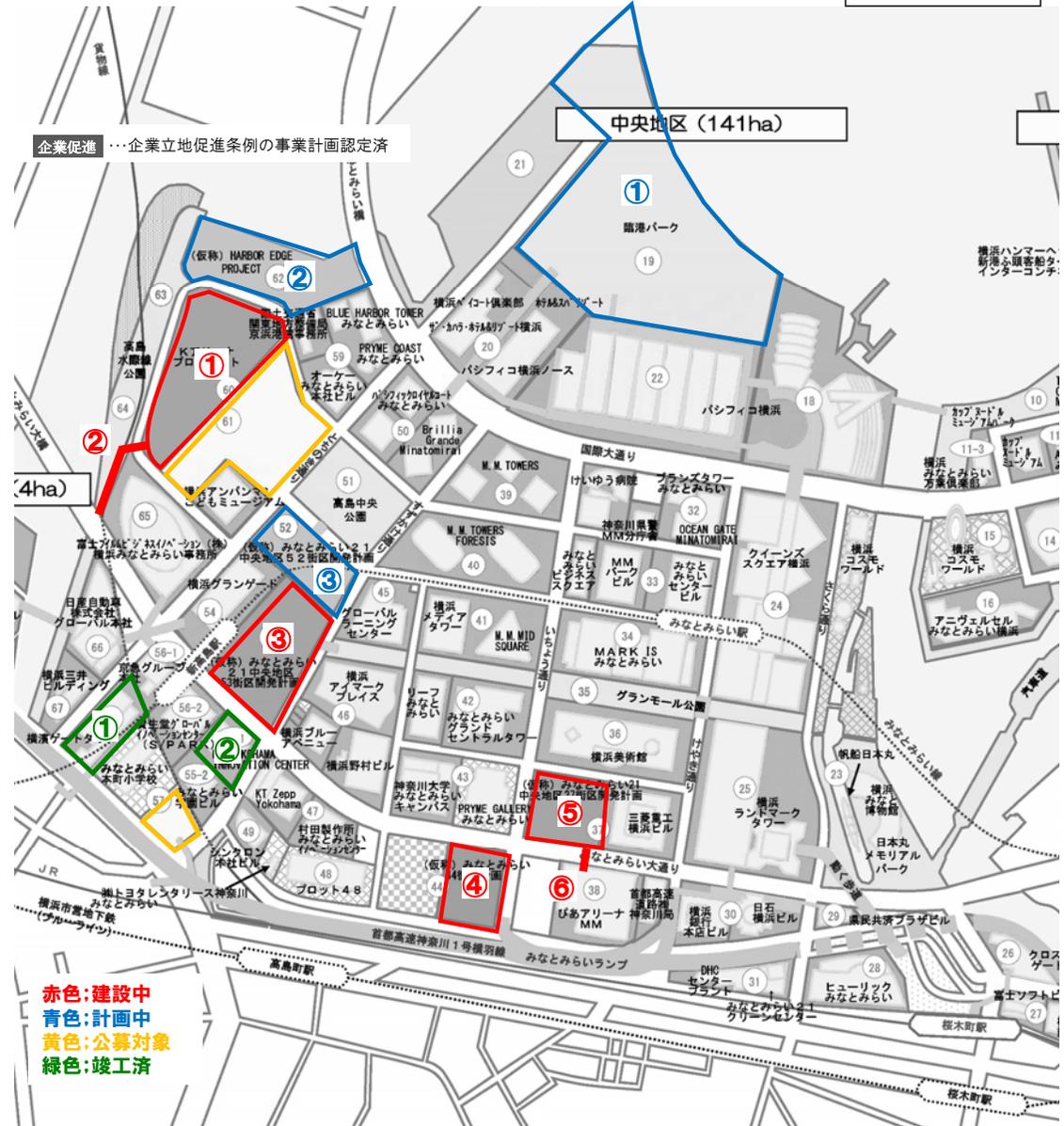
【全体スケジュール】

令和元(2019)年7月	①②中央西口・きた西口駅前広場の整備工事着手
令和元(2019)年10月	③横浜駅きた西口鶴屋地区再開発工事着手
令和元(2019)年12月	西口地下街中央通路接続事業(馬の背解消)新設通路開通
令和2(2020)年3月	JR横浜タワー、JR横浜鶴屋町ビル竣工
令和2(2020)年7月	①中央西口駅前広場 JR横浜タワーアトリウム前屋根工事完了
令和2(2020)年8月	①中央西口駅前広場 横浜モアーズ前屋根工事着手
	JR横浜駅改札内通路整備完了
令和2(2020)年12月	BAYSIDE BLUE 待合室整備完了

令和3(2021)年6月	①中央西口駅前広場 横浜モアーズ前屋根工事完了・JR横浜タワー前屋根供用開始
令和3(2021)年10月	②きた西口駅前広場 屋根工事着手
令和4(2022)年1月	①中央西口駅前広場 横浜高島屋前屋根工事着手
令和4(2022)年度	①中央西口駅前広場整備完了(予定) ②きた西口駅前広場整備完了(予定)
令和5(2023)年度	③横浜駅きた西口鶴屋地区の竣工(予定)
令和6(2024)年度	④内海川跨線人道橋撤去工事完了(予定)

3-(3) 西区における開発動向等 (みなとみらい21地区)

<p>赤①</p> <p>60・61の一部：ミュージックテラス Kアリーナ横浜/ヒルトン横浜/Kタワー横浜</p> <p style="text-align: right;">企業促進</p> <p>事業主体：株式会社ケン・コーポレーション 規模等/高さ：地上28階/約99m 敷地/延床面積：約31,800㎡/約118,700㎡ 施設：音楽アリーナ(収容人数約2万人)、ホテル、オフィス、展示施設 竣工：令和5(2023)年7月予定</p>	<p>赤④</p> <p>44の一部：(仮称)みなとみらい44街区計画</p> <p style="text-align: right;">企業促進</p> <p>事業主体：積水ハウス株式会社 規模等/高さ：地上23階/約100m 敷地/延床面積：約9,600㎡/約65,900㎡ 施設：ホテル等 竣工：令和4(2022)年2月予定</p>
<p>赤② 変更</p> <p>60・61の一部-みなとみらい大通り： (仮称)高島水際線デッキ整備</p> <p>事業主体：都市整備局 規模等：幅員6.0m、橋長約130m 着工：令和3(2021)年10月 竣工：令和5(2023)年度予定</p>	<p>赤⑤</p> <p>37の一部：(仮称)みなとみらい21 中央地区37街区開発計画</p> <p>事業主体：合同会社KRF48 規模等/高さ：地上28階、地下1階/約146m 敷地/延床面積：約10,100㎡/約122,000㎡ 施設：オフィス、ホテル、店舗、駐車場 竣工：令和5(2023)年1月予定</p>
<p>赤③</p> <p>53(仮称)みなとみらい21中央地区53街区開発計画</p> <p>事業主体：(仮称)みなとみらい21中央地区53街区開発事業者共同企業体 規模等/高さ：地上30階/約160m 敷地/延床面積：約20,600㎡/約183,000㎡ 施設：オフィス、店舗、オープンイノベーションスペース、ホテル等 竣工：令和6(2024)年3月予定</p>	<p>赤⑥ 変更</p> <p>37-38： (仮称)みなとみらい大通り37-38街区間デッキ整備</p> <p>事業主体：都市整備局 規模等：幅員6.0m、橋長約50m 着工：令和3(2021)年10月 竣工：令和4(2022)年度予定</p>
<p>青①</p> <p>19の一部：臨港パークの整備</p> <p>【先端部等の整備】 事業主体：港湾局 規模等：約1.5ha 施設：接続デッキ(パシフィコ横浜)緑地、親水護岸、桟橋、薬場・浅場(人工海浜・岩場)等 着手：令和3(2021)年度予定</p> <p>【(仮称)臨港パークプロジェクト】 事業主体：(代表企業)株式会社伊佐建設(構成企業)株式会社ドラフトスプリングハズカム合同会社 規模等：地上3階 敷地面積：約600㎡ 施設：カフェ、ランニングステーション、レストラン等 竣工：令和5(2023)年度予定</p>	<p>青②</p> <p>62：(仮称)HARBOR EDGE PROJECT</p> <p>事業主体：(代表企業)Berjaya Corporation Berhad(構成企業)丸紅株式会社、大和ハウス工業株式会社 規模等/高さ：地上14階、地下2階/約60m 敷地/延床面積：約22,200㎡/約82,700㎡ 施設：ホテル、水族館、店舗 竣工：令和8(2026)年9月予定</p> <p>青③</p> <p>52：みなとみらい21中央地区52街区開発事業計画</p> <p>事業主体：DKみなとみらい52街区特定目的会社株式会社光優 規模等/高さ：地上29階、地下1階/約180m 敷地/延床面積：約11,800㎡/約115,000㎡ 施設：オフィス、ゲームアートミュージアム、イノベーションプラットフォーム、店舗、地域冷暖房プラント 竣工：令和8(2026)年度予定</p>



赤色:建設中
青色:計画中
黄色:公募対象
緑色:竣工済

緑① 横濱ゲートタワー(令和3(2021)年9月竣工)
緑② LG YOKOHAMA INNOVATION CENTER(令和3(2021)年11月竣工)

3-(4) 令和3年度 コロナ禍における事業展開の報告

1 令和3年度 個性ある区づくり推進費に係る事業見直し

新型コロナウイルス感染症による事業への影響を把握し、効率的かつ効果的に事業を実施するため、全ての自主企画事業を対象に事業点検を実施しました。

また、見直しの結果、削減した事業費については、新しい生活様式に対応した各種事業の実施や新型コロナウイルス感染症対策に活用しました。

(単位：千円)

自主企画事業費総額	99,090
見直し金額	▲ 12,596
新型コロナウイルス感染症対策等への活用	12,144

主な見直し内容

▲ 12,596

新型コロナによる事業の中止、縮小等

・西区民まつりの中止	▲ 6,007
・西区虫の音を聞く会の中止	▲ 2,387
・英語版ガイド情報誌の増刷中止	▲ 1,800
・西区キャンドルアート2021中止	▲ 590
・にこまちプランの策定事業の中止、縮小	▲ 254
・オリンピック・パラリンピック啓発事業の縮小	▲ 200
・ふれあい会の団体数拡充の見送り	▲ 185
・講座、講演会等の中止及びそれらに伴う啓発物品の調達見送り等	▲ 1,173

見直し額を活用した新たな取組

12,144

・にしくスタイルの開催	1,500
・にしくキッチンの開催	2,000
・西区虫の音を聞く会の献灯・万灯の点検・補修等	2,387
・西区の魅力発信情報誌「ふるさと西区」の発行	800
・読書活動推進講演会（総事業費は950千円。367千円は増額分）	367
・みんなで読書チャレンジin西区	711
・講師派遣によるICT講習会（区民利用施設協会との連携により公費支出なし）	0
・リモートによる区連会定例会の開催	500
・西区YouTubeチャンネルの開設	100
・西区庁舎トイレの自動ドア化（多機能トイレ2か所、一般トイレ4か所）	3,779

※上記金額は、令和4年1月31日時点の概算数値です。

2 見直し額を活用した新たな取組

(1) 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業

ア にしくスタイルの開催 (1,500千円)

西区では、さまざまなジャンルの数多くの地域団体が日々活発に活動していますが、活動を発表する場が少なくなっている状況がありました。そこで、西区として、地域活動を応援するため、区役所入口前に特設ブースを設置し、地域団体の活動を紹介する場とする、「にしくスタイル」企画を実施しました。



各団体の活動紹介のほか、物販や体験などで地域活動を盛り上げました。

【実施期間】 令和3年12月13日(月)～12月24日(金)：シーズン1
令和4年1月17日(月)～1月28日(金)：シーズン2
【出展団体数】 23団体(連携団体含む) 来場者数：1,244人



リリーザ西(物販・展示)



交通安全協会(体験)

イ にしくキッチンの開催 (2,000千円)

コロナ禍において大きな影響を受けている飲食店を西区として応援するとともに、西区の飲食店の多彩さ・魅力を広く発信することを目的に、区役所入口前特設ブースにて、参加店舗が提供するお弁当の紹介・販売を行う「にしくキッチン」企画を実施しました。



参加店舗については、幅広い支援を行う観点から、西区食品衛生協会及び西区商店会連合会と連携して募集を行いました。

実施にあたっては、経済局と連携し市内経済活性化事業に係る補助金(区配予算)を活用しました。

【実施期間】 令和4年1月31日(月)～3月4日(金)
【参加店舗数】 21店舗(うち食品衛生協会加盟9店舗)
【その他】 抽選で「にしくキッチン」オリジナルエコバック(参加店名入り)をプレゼント。SDGs推進のため、希望店舗へのエコ弁当箱提供



オリジナルエコバック



エコ弁当箱

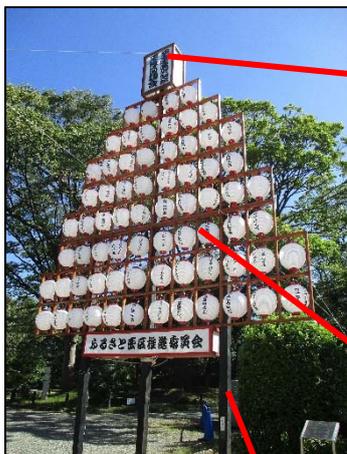
(2) ふるさと西区魅力発信事業

ア 西区虫の音を聞く会の万灯の点検・補修等 (2,387千円)

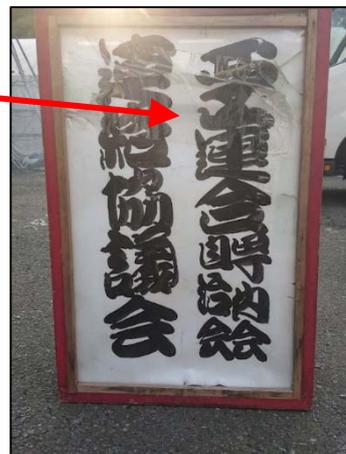
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度第56回西区虫の音を聞く会を開催中止とし、次年度以降の開催に向けて、万灯の点検を行いました。現在、点検結果に基づく補修や雪洞の作製を進めています。

【参考：万灯の点検結果】

	万灯の種類	柱	プロソケットの交換	木枠	看板等
1	36 万灯	—	5 個	—	—
2	36 万灯	—	12 個	—	—
3	36 万灯	—	21 個	—	—
4	36 万灯	要修繕	12 個	—	—
5	36 万灯	要修繕	11 個	—	—
6	36 万灯	—	10 個	—	—
7	52 万灯	—	18 個	—	要修繕
8	52 万灯	要修繕	20 個	—	要修繕
9	70 万灯	—	23 個	要修繕	要修繕
10	70 万灯	—	20 個	—	要修繕
11	角万灯	—	—	—	要修繕



万灯



看板の破れ



柱のひび割れ



プロソケットの腐食、つぶれ

(3) 読書活動推進事業

普段読書に親しみが無い方に、読書をしていただくきっかけを提供することを目的とし、平成27年度から読書活動推進事業を実施しています。

令和3年度は、新しい生活様式に対応し、自宅で過ごす時間でも本事業に参加していただけるよう、例年、リアル開催としている読書講演会をオンライン開催へ変更しました。また、アプリを使って読書活動の習慣化を目指す「みんなで読書チャレンジin西区」を実施しました。

YouTubeチャンネルでライブ配信することやアプリとの連携で、参加者の安全を十分に確保しながら、読書活動の啓発につなげていきます。

ア 読書活動推進講演会 (950千円) ※当初予算額583千円に367千円を増額

読書活動の魅力や意義について語る講演会を、令和3年4月に開校した神奈川大学みなとみらいキャンパスと連携して開催し、西区のYouTubeチャンネルでライブ配信します。

元ラグビー日本代表キャプテンの廣瀬俊朗氏を講師として招き、アスリートとしての経験と読書の意義等を絡めた講演をしていただきます。

3部構成の対談形式としており、第1・2部を、神奈川大学の学生2名、第3部を神奈川大学学長及び西区長が対談者として登壇します。

また、当日視聴できなかった区民にも視聴していただけるよう、編集した映像(英語版含む)を、横浜市YouTubeチャンネルで配信します。



講演会チラシ

【概要】

配信日時：令和4年2月22日(火)午後6時30分から
 配信元：西区YouTubeチャンネル
 講師：廣瀬俊朗氏 (15人制ラグビー元日本代表キャプテン)
 司会進行：岩崎里衣氏 (フリーアナウンサー)
 主な講演内容：①ラグビーを通じて学んだこと 【対談者：神奈川大学学生2名】
 ②若者におすすめしたい本 【対談者：神奈川大学学生2名】
 ③リーダーシップ論 【対談者：神奈川大学学長、西区長】

イ みんなで読書チャレンジin西区 (711千円)

三日坊主防止アプリ「みんなチャレ」を活用し、参加者がアプリ内で日々の読書活動を報告しあうことで、読書活動の習慣化を図る取組です。

アプリを活用した読書活動の啓発は、日本初の取組であるとして、複数のメディアで取り上げられました。西区在住・在学・在勤の方を主な対象としていますが、西区外の方々にも参加していただいています。

実施にあたっては、教育委員会と連携し先駆的な読書活動推進の取組に係る区配予算を活用しました。

【概要】

開催期間：令和3年10月5日から令和4年2月28日
 参加者数：集計中
 景品：図書カード (1,000円分) ×100名 (抽選)



みんなチャレチラシ

(4) 地域活動支援の強化（地域活動事業）

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、区連会や地区連定例会、自治会町内会の会合等が相次いで中止となり、地域活動に必要な「顔の見える関係づくり」が行えない環境になりました。

リモートによる区連会定例会の開催及び「新しい活動スタイル」をより浸透させることを目的に、講師派遣による講習会を実施しました。

ア 講師派遣によるICT講習会（区民利用施設協会との連携により公費支出なし）

【概要】

実施日時：令和3年11月26日（金）9時30分から11時15分

令和3年11月30日（火）9時30分から11時15分

会場：藤棚地区センター

講師：株式会社コネクシオ

参加者人数：区連会（8名）、施設職員（9名）

講習会内容：ZOOM体験（ゲスト操作及びホスト操作）等



1グループに講師1名を配置し、「MeePet」の操作説明を実施。

イ リモートによる区連会定例会の開催（500千円）

ICT講習会を踏まえ、各地区連にMeePet（ミーペット）を貸し出し、区連会定例会をリモートで開催しました。引き続き新型コロナウイルスに左右されない安定した区連会定例会を目指し、地域の情報共有と地域活動の円滑な運営を図るため、リモート開催を継続していきます。

【リモート開催実績】

開催月	開催内容	リモート参加者数
10月	区連会定例会	【ハイブリット型】 1名
11月	区連会定例会	【ハイブリット型】 1名
12月	区連会メンバーによる年末挨拶	【全体型】 13名
1月	区連会定例会	【全体型】 19名
2月	区連会定例会（予定）	【全体型】 19名（予定）

【1月の区連会定例会の様子】



リモートの様子
（地区連長）



MeePet
画面



リモート会議の様子
（西区4A会議室）



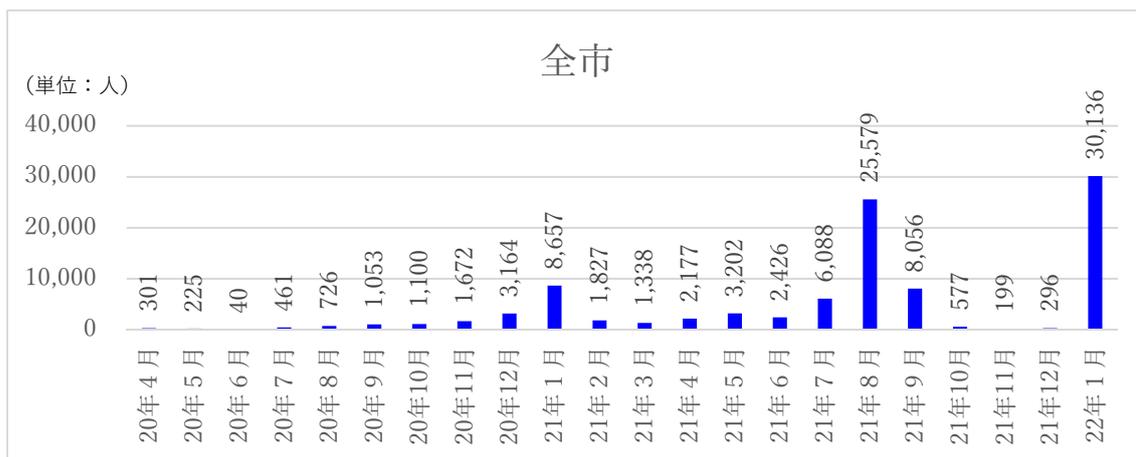
モニター画面

3-(5) 新型コロナウイルス感染症の状況、ワクチンの追加接種等

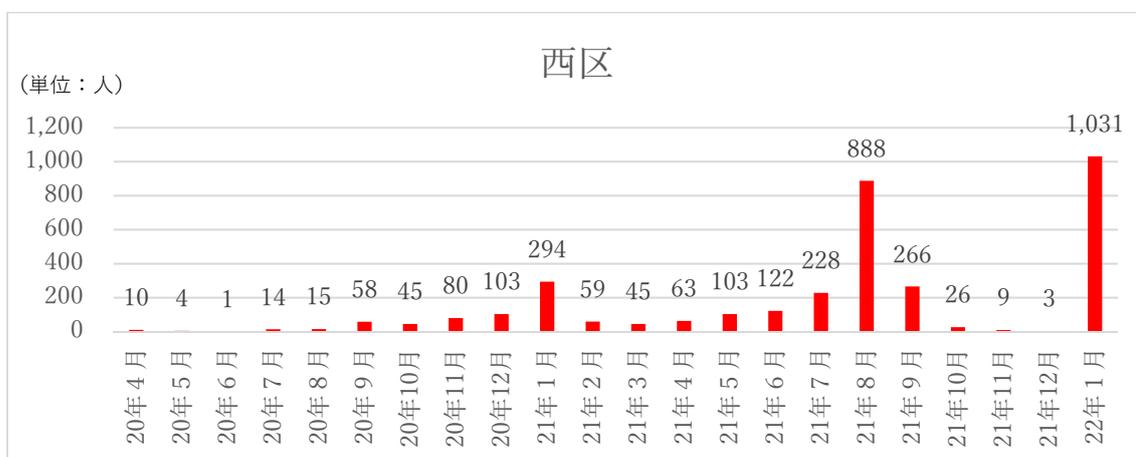
1 新型コロナウイルス感染症の状況

各区福祉保健センターでは、「新型コロナウイルス感染症」に関する保健所業務（感染拡大防止や感染者の療養支援等）を行っています。陽性患者の状況等は、次のとおりです。

(1) 全市の陽性患者数の推移



(2) 西区の陽性患者数の推移



(3) 区別接種数・接種率（2回目接種） ※令和4年1月3日時点

(単位：人)

	鶴見区	神奈川区	西区	中区	南区	港南区	保土ヶ谷区	旭区	磯子区
接種数	224,550	187,057	79,243	113,103	154,078	172,195	160,737	193,958	131,103
接種率	84.5%	85.4%	84.2%	80.2%	83.8%	87.8%	85.8%	86.5%	86.1%

	金沢区	港北区	緑区	青葉区	都筑区	戸塚区	栄区	泉区	瀬谷区
接種数	155,871	272,133	142,565	241,039	164,658	221,974	95,431	121,710	95,363
接種率	86.4%	86.3%	87.0%	86.3%	87.4%	87.6%	86.8%	87.5%	85.2%

2 新型コロナウイルスワクチンの追加接種（3回目接種）

(1) 追加接種（3回目接種）の概要

ア 対象者

2回目接種完了から原則8か月以上経過した横浜市に住民登録のある18歳以上の方。

ただし、国の接種間隔の前倒しに関する新たな方針（厚生労働省事務連絡令和4年1月13日付）に基づき、高齢者接種のさらなる前倒し及び64歳以下の方々の接種前倒しを次の通り実施します。

■追加接種（3回目接種）計画（令和4年1月20日時点）

医療従事者等（約13万人）、高齢者施設入所者等（約8.5万人）は高齢者、一般の対象者の内数で12月から接種開始済。

対象者 対象者数	接種間隔・接種開始時期
高齢者(65歳以上) 約86万人	・1月31日 接種開始 ・2月21日までに対象者(2回目接種から6か月経過：約83万人)全員に接種券配布・接種*
一般(64歳以下) 約190万人	・2月下旬 接種開始 ・3月14日までに対象者(2回目接種から6か月経過：約85万人)全員に接種券配布・接種*。以降は6か月経過時に接種可能

※接種券が届いた方から接種が可能です。

イ 接種体制

(ア) 個別接種（市内医療機関）

- ・医療機関数：約1,900か所
- ・使用ワクチン：原則、ファイザー社ワクチン
（武田／モデルナ社ワクチンを併用して接種する医療機関約30か所）

(イ) 集団接種

- ・会場数：13か所（大規模会場2か所、臨時会場2か所、その他方面別会場9か所）
- ・使用ワクチン：武田／モデルナ社ワクチン
（1・2回目接種時がファイザー社ワクチンであった方も接種可）

※ワクチンの種類は国からのワクチン供給の状況により、一部の会場で今後変更となる可能性あり

(2) 西区における追加接種

ア 個別接種（市内医療機関、市内約1,900か所）

西区の医療機関51か所（令和4年2月4日現在）

内訳：市予約システム 40か所、直接予約 11か所

イ 集団接種会場（市内13か所）

うち西区内に設置される横浜駅西口会場は以下のとおり

(ア) 住所、アクセス：西区北幸1-4-1、JR線等・横浜駅西口 徒歩5分

(イ) 開設予定日：令和4年3月3日(木)

(ウ) 開設日・時間 【水、木、金、日】 10:00～12:15 / 14:00～16:15
 【土】 14:45～17:00 / 17:30～19:45

(エ) 会場の概要

- ・面積1,023㎡（横浜天理ビル14階）
- ・予診4ブース、接種8ブース
- ・1日あたりの想定接種人数 660人

3-(6) 区役所デジタル化におけるモデル区の実現

コロナ禍により、行政のデジタル化の遅れが明らかとなり、デジタル技術を活用した行政サービスの利便性向上や業務効率化が喫緊の課題となっています。本市においては、防災、福祉や地域支援の最前線である区役所が、デジタル化によりその役割を最大限に発揮できる「デジタル区役所」の実現が重要です。

「デジタル区役所」の実現に向けて、区役所の環境面と人材面での課題への対応が必要であるため、令和4年度は、区庁舎のインフラ整備、ウェブ会議実施の支援、「モデル区」として選定した西区及び港南区への「伴走型」支援に取り組みます。

1 「モデル区」におけるデジタル化の取組

(1) モデル区方式とする背景

社会全体のデジタル化が加速していますが、地域によっては、それぞれが有するスキルやデジタル化への意識には差があり、全区一律にデジタル化を進めることは難しい状況にあります。

そこで、まずは「モデル区」で実証実験に取り組み、その中で得た知見や、市民の皆様が効果を実感できる成功事例を他の区にも横展開することにより、区役所全体のデジタル化につなげていきます。

(2) モデル区の実選定

モデル区として、西区と港南区を選定しました。都心区と郊外区、区民の平均年齢、区庁舎の築年数といった区の特徴、区側のデジタル化を推進する体制、デジタル化に関する地域住民の関心の高さ、区庁舎のインターネット環境、などの観点から、それぞれ特徴を有する両区を選定しました。

(3) デジタル統括本部によるモデル区支援

モデル区の現場職員を中心に構成されるプロジェクトチームを、デジタル統括本部のサポートチームが外部のコンサルティングも活用して共に検討する「伴走型」で支援します。業務の見直しも含めたサービスをデザインし、メリットを実感できる取組から試行していきます。

(4) 西区での取組

具体的な内容は、デジタル統括本部とモデル区が連携して検討します。令和3年度中から検討に着手し、令和4年度の試行に備えます。

区民と区役所をオンラインでつなぐ環境を整備し、区民からの相談や手続に対してオンラインで対応することによって移動の負担を軽減する取組や、デジタル技術の活用による来庁者の負担軽減、窓口対応職員の業務効率化について検討するなどの取組を行う予定です。

令和4年度予算編成に向けた区提案反映制度 西区提案への対応（概要）

区民と区役所をつなぐオンライン相談・手続スペースの整備
区民が自宅や区民利用施設等から区役所にオンライン相談・手続ができるための仕組みや、必要な環境整備について検討を行います。検討にあたっては、デジタル統括本部が区役所への伴走型の支援を行う枠組を構築し、その中で区役所と共に検討します。

2 区役所デジタル化に関連するデジタル統括本部の令和4年度予算

(1) 区役所デジタル化におけるモデル区等への支援（3,581万円）

モデル区として選定した西区及び港南区をはじめ、区役所のデジタル化を支援します。ウェブ会議を実施する際のサポートや、モデル区での試行では、デジタル化の効果を最大限発揮できるよう、コンサルティングを活用し、成功事例を創出して横展開につなげていきます。

(2) 区役所庁舎内無線LANの整備等（5億6,980万円）

内部事務用の無線LANの整備やファイルサーバーの再整備に向けた調査・設計を行い、区役所庁舎内で端末を持ち運びながらペーパーレス会議や他部署への応援業務などが実施できる環境の整備を進めます。